



通算才 140号

1966~1967-11-16

函館北ロータリークラブ

第 124 回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

卓話 ◯ 少年刑務所について ◯

花田馨氏

先日私のところに電話がありました。刑務所で理容師の訓練をやられては困るというのです。役所に来て下さればよく説明しますと答えておきました。

刑務所は昔は牢獄と呼ばれましたが、明治中期に監獄になり、大正11年に刑務所となりました。繋いで隔離しておいた時代から、何か働かせようというふうに考え方が変わり、更に最近意味のある動きをさせるようになりました。私共の少年刑務所には現在857名が入っていますが、統計でみると40%が窃盗、16%が強盗、10%が恐喝です。つまり働かないで人の物を盗るのが多いのです。更にそれ等は何故やつたかを考えてやる必要があります。

最近全国で4ヶ所をテストケースとして名称を変えてみました。私共の所も宇賀浦技能訓練所となりました。木工、活版印刷、洋服、溶接、製靴、彫刻、汽罐、船舶職員、理容、無線通信、農業、自動車整備、クリーニング等色々な職業訓練をやり、又国家試験も受けさせ、合格率も極めて優秀です。その結果従来は60%もあつた再犯が、職業訓練をやつて就職させることにより20%台に減少させることが出来ました。函館ドックでも働いていますが、彼等は働く意欲充分で、信頼感があれば決して逃げたりしません。

職業訓練は然し全員には行なえません。知能の低いもの、精神又は身体に障害のある者はまずく、別の施設に移します。又私共は毎日の生活に職業人としての癖もやつています。部屋の入り方、人の応待、言葉使い等もうるさくいつています。更に私共は彼等の今後の生活環境のうちでどこに欠陥があつたかに注意し、その対策も考えてやります。

何れにせよこの2年間の成績は優秀でした。以上のような次才で、就職後についての御協力と、職業上差支えある場合にも御理解下さるようお願いいたします。

出席報告

- | | | | |
|-------------|--------------------|-----------|-------|
| 1. 本日の状況 | 会員数30名 | 出席24名 | 欠席6名 |
| 2. 前回の確定出席率 | 89.66% (29名中26名出席) | | |
| ・マーク・アツプ | 青柳君 | 深瀬君 | 飯田貢一君 |
| 欠席者 | 戸栗君 | 塚田君 | 高田君 |
| 3. 他クラブの状況 | 函館92.52% | 函館東88.16% | |
| 4. 10月通算出席率 | 83.62% | | |
| | 函館93.02% | 函館東93.33% | |

次回(11月30日)のプログラム 会員卓話 今宮君

11月23日(水)は祭日につき休会となります。

○ 布目新会員のプロフィールは次号で御紹介します。

本日のプログラム

◯ ローターリー財団週間に因んで ◯ 函館RC 光銭源吉郎氏

司会 飯田会長 斉唱 我等の生業

ゲスト 元田茂氏(北海道大学水産学部教授)

ビジター 鷺尾英一君他12名(函館) 西村重蔵君他7名(函館東)

会長報告

13~19日はロータリー財団週間にあたり、而も本年は創立50周年を迎えます。北クラブは発足以来、基金を通じてのみの消極的協力に過ぎませんでしたが、我々は先ずロータリー財団の認識が必要だと思ひます。次回の例会には函館クラブの光銭さんに色々御教示をいただく予定です。

幹事報告

1. YWCAより◯われらキャロウェイ◯の映画前売券を斡旋して参りました。御希望の方は幹事まで、220円です。
2. 例会終了後理事会を行ないます。

卓話 ◯ 海洋の国際研究 ◯ 元田茂氏

昭和28年秋に、アメリカのカリフォルニア大学附属研究所のスペンサー・ベアード号が、アリニューシヤン、千島の調査のため函館に寄港しました。その船を訪問して、新しい研究機械を持つていたのに驚かされました。戦中から戦後にかけて日本の海洋研究は後れました。戦前は帝国海軍の水路部が活躍し、又農林省でも海洋調査をやつていました。然し戦争で日本の研究が中断された間に、外国の進歩は著しいものがあつたのです。

先ず戦後にデンマークでは、1950~51年にガラテア号が大々的に世界の海洋調査を行ないました。その一年間の航海費用は街頭募金で半分をまかなつたとのことです。元来デンマークは、伝統的に国民こぞつて海洋研究に応援する国です。ガラテア号の主たる調査目的な深海の生物でした。従来1万mの深海は無生物帯であろうとされておりました。然しガラテア号は、フィリピン附近の1万mの深海でイソギンチャク様の生物を発見しました。

海洋の調査をすれば、その結果を出版するのがふつうです。日本ではすぐに報告書を提出させられるので、それきりになりがちです。一方外国では膨大な報告書を書いて出版しています。勿論多大のお金と年月がかかります。イギリスのチャレンジャー号の報告は20年もかかりました。そのような、あとの地道な作業がなければ、海洋調査は実になりません。

戦後のもう一つの大きな調査は、スウェーデンのアルファトリス号が1947～48年に行なつたものです。その主目的は深海の沈殿物の研究でした。何千mという深い海底に鉄のパイプを入れて沈殿物をとるのです。浮遊物や生物の死骸、宇宙から飛んで来たゴミ等が主なるものですが、それによつて昔の歴史がわかることもあります。更にイギリスのチャレンジャー号八世号の調査があります。それによつてフィリピン附近で10863mの世界最深の海溝が発見されました。

このように、戦後我々が困窮していた時代に、他国では大規模な探検を行なつていました。ソ連でも5～7千屯の船で、日本近海は勿論世界中の海について、その形状、生産性を調査し、産業的目的にそつて船を派遣するという、オーソドックスなやり方で新しい漁場を開拓しております。

さてヘアード号が来てから、日本でも刺戟を受けて海洋の調査活動が復活して来ました。海洋には国境がなく自由に往き来出来ますが、一つの船では調査に限度があり、時間的なズレもあります。やがて各国バラバラに調査するよりも、天気図のように、世界が協力して共同研究すべきであるとの気運が高まつて来ました。そこでユネスコが世界各国に呼びかけ、政府間海洋学委員会をつくることになり、会議が持たれ、海洋の共同調査研究は軌道にのりました。

我々も1955年から国際共同観測に参加しています。オ一回目はオシヨロ丸(600屯)で約1カ月半、悪条件に悩まされながらベーリング海を調査しました。次は1962～64年に、東京水産大学の海鷹丸でセイロン島南方を、新しいオシヨロ丸(1180屯)で印度洋を調査しました。

今回は黒潮の共同観測をやつています。日本が提唱し、ユネスコでとりあげたもので、4年計画の2年目にあたります。

漁業に関係ある者は先ず海を知らねばなりません。単に魚を追いかけるのはまずいことです。而も日本は国際条約で段々不利になつていきます。魚は日本人の重大な蛋白の補給源です。海洋と魚の研究は難しいものですが、先ず基礎的研究から積み重ねてゆかねばなりません。研究の結果お互いの理解が成り立ちそして平和的な解決がなされるよう期待するものです。

(オシヨロ丸、海鷹丸、調査の様子など美しいスライドを添えて)

〆瓢箪から駒が出る〆話は屢々聞くが、私共の京都行きもそんな類のものである。

去る十月初旬、木島則夫モーニングショーで天龍寺管長と永六輔氏との対談が天龍寺で行なわれた。余りにも奇麗なお庭なので急に実物が見たくなくて、冢内と一緒に出掛けることにした。一体、医者ほこり云つては申し訳ないが、患者さんに一日中追いかけられている身であるから、思い切つて函館を離れないことには開放されることはないのである。早速交通公社と相談してスケジュールを作る。大阪函館間は飛行機の旅とした。がそこは田舎者である。大阪国際空港に着いた後、京都まで1時間半も自動車に揺られなければならないことに気がつかなくつた。不覚の至りである。京都に着いてみると大変暖かくて、小生持参のスプリングは一度も着ずじまいであつた。

名園鑑賞コースと云うバス観光コースがある。無鄰庵、金地院、南禅寺、大仙院、大徳寺、龍安寺、天龍寺、西芳寺の八つのお寺さんのお庭拝見である。大仙院の庭園は南と北の二つに分れ、北の方は東北隅に巨石を並べ、深山幽谷の感じを出して〆枯山水〆の名園の一つにふさわしく、どろどろたる滝つ瀬、涼々たる流水の音が聞こえて来るようである。南の方は船形の自然石と島々を思わせる石組が配されている。形の上からも精神的にも充実したものが感じられる石庭である。相阿彌作の寺伝はあるが、当寺を開基した古岳宗匠の作と考えられている。大仙院の名僧が、この精神的なものも現実的なものから来る禅的な説明を、感情をこめて我々の胸にせまらせるのである。さて次のグループが来て私共が聞いたものと同じ説明を聞いている。同じ事を二度も聞くと感動は薄らぐものである。この僧の声涙も立派な演出であつた。商魂に徹したお寺さんの態度には、ちよつとした驚ろきであつた。

本命の天龍寺のお庭を拝見する。テレビで見た庭よりも、もつと雄大で樹林の緑深い亀山を背景にして、曹源池がひろがり、正面の山畔に滝門瀑の雄渾な滝組を構え、滝の下に自然石の橋をかけ、幽玄を立体化した格調の高さは比類がない。池の汀線は曲折している。夢窓国師晩年の力作と云われている。庭らしい庭を見得た感じで満足してしまつた。

左阿彌と云う由緒ある料理旅館に宿をとる。円山公園の奥にある。〆昔はこの山手に時宗の安泰寺の高坊があり、阿彌号を称したので六阿彌とも云つた景勝地で、風流な庭や書院をかまえ、文人墨客の集まることとなつた。今では旧長寿院の左阿彌だけが昔のゆかしい姿をとどめ、他は廃絶してしまつた〆と京都古寺巡礼に書いてある場所である。私の通されたのは70年前に茶室とし

て建てられた藁葺きの独立家屋である。風流この上もない。眼下に京都のネオンが光を放ち、十六夜の月が皎々と青白い光芒を投げている。不思議な宿で、夜になると外人の「スキヤキパーティー」が始まる。この宿は所謂「古さ」が売り物なのである。舞妓はんが祇園からやつて来る。喰べた後は舞妓はんの踊りと、外人と一緒に野球拳などで面白く遊んでゆく。こんな事も外人旅行会のスケジュールの中の一セットであるらしい。

タクシーの運転ちゃんが面白いことを教えて呉れた。「京都の女性は小意地が悪いんですよ」と。この運転ちゃん余程京都の女性からひどい目に会わされたに違いない。

まるまる7日滞在したが、見学した寺院30。丁度折よく出くわした「時代祭」、奇麗どに出演している「加茂川踊り」などを見物して、仙台、十和田湖を周つて帰函。いやはや、急がしくもあり、楽しみも多かつた旅行でした。

新 入 会 員 御 紹 介

布目賢治君 Kenji Nunome
 △生年月日 明治44年8月8日
 △自宅及び電話 函館市入舟町7番5号
 (22) 4398

△勤務先及び地位 布目冷蔵KK、布目水産食品
 代表取締役

△職業分類 冷凍(大) 冷蔵(小)
 △御家族 奥さん寿子さん(大8.11.30生)

長女玲子さん、長男悦郎君(東洋大卒)
 次男征悦君、次女喜美子さん(亜細亜大)

△趣味 ゴルフ
 △結婚記念日 昭和15年3月7日
 △推選者 野村宣市君



出席報告

1. 本日の状況 会員数30名 出席22名
2. 前回の確定出席率 83.33% (30名中25名出席)
 メーカー・アツプ 飯田伸生君(函館)
 欠席者 深瀬君、木屋君、塚田君、山形君、藤野君
3. 他クラブの状況 函館(休会) 函館東92.00%



本日のプログラム

卓話 外から見た日本一函館 商工会議所副会頭 田中誠一郎氏

- 司会 成田副会長 斉唱 君が代、奉仕の理想
 ビジター 木村英夫君他6名(函館) 金子金四郎君他7名(函館東)
 副会長挨拶

1. 飯田会長の奥さんの弟さん、並びに倶野会員のお嬢さんのお婿さんがお亡くなりになりました。御報告と共にお悔やみ申し上げます。
2. ボーナスシーズンで皆様御苦勞のことと存じます。昔エジプト王が部下の功勞に対し何が嬉しいかと尋ねたところ、王の傍のボーナスが嬉しいと答えたのが語源です。「ボー」は裸、「ナス」は女の意味でした。

幹事報告

1. クリスマス家族会について相談致したので、例会後全員お残り下さい。
2. 「ロータリー・ダイアリー」お申し込みは幹事まで。
3. 年末はクリスマス家族会等にて例会場、例会時間の変更が多々ありますので、メーカーアップされる方は御注意下さい。

ニコニコ箱

1. お誕生日おめでとー 杉本君(10日) 今宮君(25日)
2. 御結婚記念日おめでとー 外山君 新君 高杉君 山内君
3. お孫さんお誕生おめでとー 俣野君

出席報告

1. 本日の状況 会員数29名 出席18名 欠席11名
2. 前回の確定出席率 76.67% (30名中23名出席)
 メーカー・アツプ 飯田会長 青柳君 深瀬君 神原君 俣野君 杉本君
3. 月間平均出席率 87.91% (11月)
 函館95.32%
 函館東93.06%

○ 次回(12月21日)は午後5時よりクリスマス家族会です。